

朝日新聞朝刊1面に連載されている「しつもん! ドラえもん」には、通し番号が付けられています。そこから、おおよその連載開始時期がわかります。「しつもん! ドラえもん」は10月31日で1350回を数えましたが、開始はいつだったのでしょうか。インターネットで検索してみればすぐわかりますが、子どもたちに考えさせてみるのが大切です。

2010年1月1日に始まりました。計算してみましょう。新聞の発行回数は、平年で355回、うるう年で356回ですので、2012年末までの3年間で1066回、今年の方が10月31日までで296回ですので、合計すると1362回となるはずですが、実際は1350回でした。その理由を考えてみます。ピンと来たのが、あの東日本大震災でした。2011年3月11日の大震災の翌日から、新聞はページ数が少なく、広告もないなど、紙面は大きく変わりました。「しつもん! ドラえもん」も3月13日から12日間、掲載されなかったのです。

さて、このコーナーは1面の「天声人語」の右にあり、親子で楽しみ、勉強にも役立つクイズが出題されています。1つのテーマが約2週間続きます。今年9月2日からは「こつき編」、9月16日からは「さかな編」、9月30日から「しこく編」、10月14日から「しょくぎょう編」、10月28日から「ふじさん編」、11月12日から「いろとことば編」と続きました。自分の解答が合っているかを知る喜びと、正解を探す面白さがありますが、今日はどのページ(面)に正解が載っているかを予想することも楽しみです。

教室では、B4判に拡大コピーした「しつもん」を前の黒板にはり、新聞から切り抜いた「こたえ」を壁にはって子どもたちに探させてもよいでしょうし、新しいテーマが始まる日に、子どもたち全員に「しつもん」を作らせても面白いでしょう。

(鈴木伸男・全国新聞教育研究協議会顧問)